

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2017年	8月	28日	記入者	久門たつお
調査者名	岡村	久門	鈴木	橋詰	

調査対象先	廣瀬神社(神社は廣瀬大社と呼称)				
所在地	北葛城郡河合町川合	電話番号			
代表者 調査対応者	樋口俊夫宮司				
対象文化財	彫刻	県指定: 件	国宝: 件	重文: 件	
	建造物	県指定: 1件 1棟	国宝: 件 棟	重文: 件 棟	

地震対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	県指定の本殿は正徳元年(1711)建造で、平成11年(1999)から2年間で地震対策と修復を実施。基壇と地下構造物の補強工事を行う一方、床の一部取り替え、欄干の組み直しなどを行った。	
	今後の予定	特にない。	
	要望	特にない。	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
		<input type="checkbox"/> その他()	
	今後の予定		
	要望		

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	平成16年(2004)に本殿、拝殿、社務所など10棟に火災報知器を設置した。併せて本殿と拝殿には炎を感知する光センサーも設けた。消火器も各所に配備している。	
	今後の予定	神社東隣の会社と万が一の際、同社所有の防火水槽を使用させてもらう取り決めを今年結んだので早期に具体化させたい。避雷針設置も検討していきたい。	
	要望	防火水槽使用の具体化のため行政に支援をお願いしたい。	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
		<input type="checkbox"/> その他()	
	今後の予定		
	要望		

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	廣瀬神社(神社は廣瀬大社と呼称)
-------	------------------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答がAの場合	どのような被害か	平成11年の本殿修復の際、本殿を囲む瑞垣の木製屋根の一部に白アリの被害があった。近くの大和川の中州にゴイサギなどの巣が出来たため、20年ほど前から飛来しフン害がある。
③ 今後	今後の予定、要望	ゴイサギなどのフン害防止のため参道の上部の枝などの伐採を行っていきたい。

1999年から2年間で基壇などが補強された本殿



本殿(正面)と拝殿(手前)に炎感知のセンサーも設置



境内10棟に設置の火災報知器(左)と消火器



二の鳥居(奥は拝殿)。飛鳥時代創建の歴史を誇る



拝殿。手前の境内で2月11日に砂かけ祭を開催



【調査票記入者(久門たつお)の感想】

県指定の本殿は耐震面、防火面ともいろいろ対策を講じておられ、いざという時に効果が発揮されるだろう。隣接企業の水槽利用についても、うまく運用できることを期待したい。